

令和8年7月9日開催

豊川市国民健康保険運営協議会

令和8年度第1回議事録

豊川市福祉部保険年金課

豊川市国民健康保険運営協議会 令和8年度第1回議事録

- 1 開催日時 令和8年7月9日（木）
午後1時30分から午後2時37分まで
- 2 開催場所 豊川市役所3階 本34会議室
- 3 委員の定数 13名
- 4 出席委員の氏名

被保険者代表	緒 河 睦 子
同	小 林 尚 美
同	榊 原 るり子
同	藪 田 千 賀
保険医・保険薬剤師代表	竹 本 正 興
同	大 山 展
同	小 林 孝 治
同	伊 藤 幸 剛
公益代表	神 谷 典 江
同	福 田 正
同	小 林 敬 子
被用者保険等保険者を代表する委員	花 井 彰
	以上12名
- 5 欠席委員の氏名

公益代表	久保田 久 子
------	---------
- 6 説明のための出席者

福祉部長	木 村 晋 也
福祉部次長	林 宣 宏
福祉部保険年金課長	松 本 謙 司
福祉部保険年金課 課長補佐	佐 藤 佳代子
同課 国保保険料係長	山 本 義 和
同課 国保給付係長	番 家 綾 子
同課 国保給付係専門員	大 下 律 子
- 7 傍聴者 2名
- 8 議事日程

議題 （1）報告事項

 - ① 令和7年度豊川市国民健康保険の状況について
 - ② 豊川市国民健康保険条例の一部改正について

- ③ 令和 8 年度豊川市国民健康保険料について
- ④ 令和 7 年度特定健診実施状況について

会議の成立

出席者数は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第 4 条の規定の定足数に達している。

会議経過

午後 1 時 3 0 分、事務局福祉部保険年金課長の司会により開会。

○司会（松本課長）

ただ今から、令和 8 年度第 1 回豊川市国民健康保険運営協議会を開催いたします。

初めに、お手元の資料の会議次第の「1」でございますが、神谷会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。

——— 会長あいさつ ———

○司会（松本課長）

ありがとうございました。それでは、以降着座にて進行させていただきます。
次に、国民健康保険運営協議会の事務局職員をご紹介します

——— 事務局職員紹介 ———

それでは議事に入ります前に、本日の協議会は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第 4 条の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、豊川市審議会は原則公開となっており、本協議会につきましても、豊川市国民健康保険運営協議会の傍聴に関する取り扱いに基づき、一般に公開しております。

なお本日の傍聴人は、2 名でございます。

また、議事録は、要点筆記により公開いたします。

それでは以後の進行は神谷会長にお願いしたいと思います。

●神谷会長

承知いたしました。それでは、会議次第に従いまして次第の 2 番目、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員には豊川市国民健康保険運営協議会規則第 7 条第 2 項により、「薮田千賀委員」、「大山展委員」の両委員を指名いたします。よろしくお願い申し上げます。

本日、3 の議題につきましては、(1) の報告事項が 4 件でございます。それでは早速、議事を進めさせていただきます。次第 3 の議題 (1) ①令和 7 年度豊川市国民健康保険の状況について、事務局に説明を求めます。

○番家係長

「令和7年度豊川市国民健康保険の状況について（資料1ページ）」説明。

○山本係長

事前質問（No.1）の回答を説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。

それでは、議題（1）①令和7年度豊川市国民健康保険の状況についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題（1）②豊川市国民健康保険条例の一部改正について、事務局に説明を求めます。

○山本係長

「豊川市国民健康保険条例の一部改正について（資料2、3ページ）」説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●藪田委員

賦課限度額の対象者の割合、7割5割2割軽減に該当する割合は分かりますか。

○松本課長

7割5割2割軽減該当者は約55パーセント、半分強になります。

限度額を超える世帯数は、手元にある資料が令和6年度のものになりますが、約1.5パーセントです。

●神谷会長

他の委員の皆さんから何かございますか。無いようでしたら、この議題につきましてはご了解をいただいたということでよろしいでしょうか。

それでは、議題（1）②豊川市国民健康保険条例の一部改正についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題（１）③令和８年度豊川市国民健康保険料について、事務局に説明を求めます。

○山本係長

「令和８年度豊川市国民健康保険料について（資料４、５、６ページ）」説明。

——— 質疑・意見の聴取に入る ———

●神谷会長

他の委員から何かありますか。無いようでしたら、この議題につきましてはご了解をいただいたということでよろしいでしょうか。

それでは、議題（１）③令和８年度豊川市国民健康保険料についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

——— 質疑・意見聴取終了 ———

●神谷会長

議題（１）④令和７年度特定健診実施状況について、事務局に説明を求めます。

○大下専門員

「令和７年度特定健診実施状況について（資料７ページ）」説明。

事前質問（No.２、No.３）も併せて説明。

——— 質疑・意見の聴取に入る ———

●花井委員

受診率３５％台という数字を市としてどうとらえているのか。令和６年度、令和７年度と、どのようなことをやってこの数値になっているのか。

○大下専門員

令和６年度は、未受診勧奨を２回実施したが、そのうち２回目を受診回数に応じて３パターンに分けて送付したところ、反応が良かったので、令和７年度は１回目でセグメント配信をした。さらに、その通知も目につくようにＡ４サイズのはがきで送付しました。また、昨年は夏の暑さのせいか、集団健診の申し込みが伸び悩んだため、暑い時期を避けた日程とし、受診しやすい環境整備をしました。また、特定健診は国が定めた健診でみんな受けるものだという表現を勧奨にとりいれました。

今年度は、イオンモール豊川でのイベントで、健診の受け方や、予約方法について説明する健診コンシェルジュを企画しています。

●花井委員

毎年そうやって工夫されていることは理解しましたが、実際に受診率が上がっていない。事業の評価をして、もっと効果のある取り組みを考えていただきたい。

●神谷会長

花井委員の言われることは分かります。豊川市もいろいろ工夫して一生懸命やっている。それでも受診率は上がらない。そこが難しい部分だなと思います。健診を受けると、こういう利点があるということが理解されていないのかな。忙しいとか面倒くさいとかいう話を聞くけれど、そういう問題ではなく、特定健診を受けたらそういう利点があるということが分かればみんな受けるんじゃないかと思う。

花井委員、いろんなところの話とか聞かれていますか。

●花井委員

先進的な取り組み、どこどこ市はこれをやって5%受診率を上げましたという事例収集してみるというのも一つかなと。

●神谷会長

先進事例も大事ですね。人口規模もかかわってくるので、その辺も加味して、そんな事例ありますか。

●花井委員

あります。他市で伸びているところはある。

●神谷会長

なんとかしたいと思って、毎年この協議会でもデジタルサイネージをやったとか、いろんなことをやっているけど、伸び悩んでいるのが豊川市の現状なんですよね。被保険者の委員の人たちどうですか。

●緒河委員

受診率向上に取り組んでいるのは分かります。国勢調査で留守のお宅のポストにメモを入れたのですが、次訪問した時にそのままになっている。今は新聞もとっていない、郵便もあまり来ないお宅はポストも見る習慣がない。勧奨はがきを出してもそのままになっている可能性は高くなっています。そのなかで勧奨はがきを出しているといっても見ていない可能性も高いので、その辺を検討していただきたい。

●藪田委員

国保新聞を読んでいると、0.1%上げるのにすごく苦労しているのがよくわかる。近隣の人に聞くと医者にかかって定期的に検査しているので健診を受ける必要がないと思っている人が多い。

まえも言ったが、強制力も必要だと思う。会社員や公務員みたいに組織に属している人は半強制的に受けますよね。退職してしまうと、そういう強制力もなくなって受けなくなる人が増えてくると思うので、強制できる何かが必要ではないかと思います。

●小林尚美委員

私は健診を受ける派なので、健診の情報をチェックして予約もして受ける。一方、主人は、まったくやらない。私が予約して受けさせていますけど、もし一人だったらやらない。いろんな取組みもやってる人には効くけど、やらない人は何をやってもやらない。

かかりつけ医で検査をやったものを持っていけばそれを代わりにできるという話を親せきにしたところ、何か項目が足りないといわれたとのこと。先生の方で、検査項目を確認して、これをもっていくといいよと言っただけだとありがたいです。

○林次長

小林委員のおっしゃったように、今受けている項目にもうちちょっと足すと健診を受けたことにできる、みなし健診の準備を進めています。準備ができましたら、医師会の方をお願いに上がりたいと思います。

●竹本委員

昔、特定健診で、項目を増やしてもらえば、医療機関でやる採血を減らせると、逆の立場で提案して、取り入れてもらって、健診を実施することで自院での採血を減らすことができた。

医師会のなかでもみなし健診のことは話題になっているので、こういうふうにするんだって言うてくれれば、それはそれで協力できるものだと思っています。

健診を受けてない方の大体4割ぐらいが医療機関にかかっているという話がありますから、やっぱりみなし健診をすすめていくべきかと思っています。

●大山委員

通院して検査を受けている方の中には、わざわざ健診を受けるのも、という方がいるが、そういう方は啓蒙活動では響かない。みなし健診は数字は上がる形にはなるんだけど、本人の意識としては、やってることはそんなに変わらない。受診率が上がるのは大切なことだが、本人の健診を受けるという意識とはちょっと違う形になってしまうと思います。

●神谷会長

少しでも伸びるように、先進地の事例を拾えたら、豊川市に合うのならば取り入れて、今すぐにどうこうならなくても、何年か後までには、この目標値に達成できるよう、取りあえずやらねばならぬことは確かです。医師会の先生たちとも連携しながら、努力してみましよう。

●竹本委員

愛知県の中で、受診率が高いところとか先進地っていうのはどこになりますか。受診率の平均は40%ぐらいですね。

○大下専門員

1位は大府市です。あいち健康プラザという、健康づくりの拠点があるので、皆さんの健康意識も上げるのも上手だったし、その健康プラザの協力もあったってということで、ぶっち切りの1位です。

●竹本委員

今は、集団健診の予約がウェブでできるようになったんですね。人数は増えてますか。

○大下専門員

集団健診を、ウェブや自動音声電話での受付にしました。

完全予約制にし、事前対象者の資格確認ができたり、待ち時間を減らすことでこちらの事務効率化を図りましたが、以前の予約なし受診に慣れた方や、ウェブや自動音声に慣れない方には不評であったりして、少し受診率は落ち込んでいるのですが、待ち時間なしで受けられるとか、あとは24時間受け付けができるってところで便利なのが分かれば予約の方も伸びてくると思っています。

●神谷会長

大府市とは違いますが、保健センターが新しくなるじゃないですか。健康についての着目点が変わって、意識が変わってくるのかなあと思うんです。新しいものはみんな好きじゃないですか。

○大下専門員

8月に送付する未受診勧奨はがきを、健診を受けてない方向けに、「新しい保健センターで快適な受診」ということで、総合保健センターの写真を前面にしたデザインにしました。新しいところに行ってみたいなって思ってくれればと思っています。

●神谷会長

私もちょっとだけ期待しています。防災センターができたときに、防災に意識のない人たちが結構足を運んでいました。せっかく新しくなったので、上手に周知をしていくっていうのは、何か結果につながるといいなあって私は思います。歯科医師会の小林委員、どうですか。

●小林孝治委員

健診を受けている人は受けているんです。一番難しいのは健診の受診に興味のない方。歯科医師会でやったナッジの理論。強制でも駄目、柔らかく言ってもいうことを聞いてくれない。なので、会長が言われたように「新しい保健センタ

一かっこいいよ」「行ったほうがいいよ」とナッジの理論で、皆さんで運動して、その気のない人たちの興味を引く、ちょっとでもこっちを向いてもらうのが今やるといういいことかもしれない。

●神谷会長

歯科は健診伸びていませんか。

●小林孝治委員

頑張ってるんですけどそれでも、僕らから見ると全然足りてない。

予防に関するところの幅が歯科は特に、ものすごい差がある。一生懸命、30年言ってるんですけどなかなか。力不足で。

このわくわく元気ラボのチラシいいですね。色分けとか、工夫がされていて。そういうことからやっていくしかないですね。

●伊藤幸剛委員

受診勧奨というところも薬局の大きな役割だと思ってます。イオンモールでのイベントを毎度行っておりますので、そんな中でもこういった健診の受診の案内を行っていくのもいいかなと思いました。

●榊原委員

特定健診の受診率の数字だけ見てこれでいいのかというのは違うと思う。健診の受診に関心のない人にも健康で日々過ごさせているからいいという人もいれば、悪いところを指摘されるの嫌だということを聞いたことがある。豊川市は糖尿病が多いと聞いているが、どこをポイントに市民の健康をみていくかということが大事だと思う。

この受診率よりももっとこういうところのほうをちゃんときちんと、見てるから、こうですよっていうふうになんか、分かるといいかなと思うところがあります。

●藪田委員

健診の費用は保険料が使われているのですか。今回保険料が上がったのは、子ども・子育てものを負担するのだということで納得がいったのですが、こういうふうに、保険料が上がるものと健診を受けること、何かつなげて考えることはできないか。

○松本課長

一人当たりの医療費が上がっているのが、保険料が上がる一番の要因です。

●藪田委員

一人当たりの医療費が上がるのは、特定健診を受けないからですか。

○松本課長

それは断定できないですが、医療費が上がらないために、健診を受けて早期発

見早期治療につなげましょうということです。

●藪田委員

保険料が上がることに對して批判する人が、その辺のことを意識する人は少ないのかなと、そのあたりが攻めどころかなと思います。

●小林敬子委員

委員になったので、久しぶりに健診を受けに行きました。早期発見で治療につなげることができました。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

6 その他について、事務局に説明を求めます。

○佐藤課長補佐

令和9年度予算に反映していただきたい意見、次回開催日時等について説明。

●神谷会長

ご説明ありがとうございました。質問も無いようでしたら、これで閉会とさせていただきます。本日は、ご多忙のところありがとうございました。

午後2時37分閉会

上記、会議の顛末を記録し、この議事録は、真正であることを認め、ここに署名する。

令和8年 月 日

会 長

議事録署名委員

議事録署名委員